

森ビル株式会社 代表取締役社長 辻 慎吾 挨拶

森ビルの辻です。

本日はお忙しいところをお集まりいただきまして、ありがとうございます。

特定建築者として、ひとことご挨拶させていただきます。

東京都心の大動脈として、65年以上前に計画された、環状2号線の新橋・虎ノ門区間。そのシンボルとなる本プロジェクトが本日上棟を迎えました。

「道路と建物を一体的に整備する」という、画期的な再開発事業を英断し、推進された東京都様、地権者の皆様、関係者の皆様と共に、この歴史的瞬間に立ち会う喜びを、今、全身で感じております。

虎ノ門・新橋地区は弊社創業の地であり、特別な思い出がございます。

弊社会長の故・森稔も、安全祈願式には病床から駆けつけるなど、最後までこのプロジェクトの進捗を気にかけておりました。

この場に森がいないのが本当に残念ですが、先ほど松本栄一様からご披露いただきましたように、「虎ノ門ヒルズ」と命名していただきました。

「ヒルズ」は、地元の方々と私どもが長い歳月をかけて再開発でつくりあげ、育んできた街の世界ブランドです。

地権者の皆様が、この街に「ヒルズ」という名称を選んでくださったことは、私どもにとって、なによりも嬉しく、光栄に感じております。

森ビルの総力をあげて、皆様のご信頼とご期待にお応えしていくこととお約束いたします。

国際戦略総合特区の新しいシンボルとなる「虎ノ門ヒルズ」には、世界最高スペックのオフィス、住宅、ホテル、カンファレンスなどを組み込み、地震リスクにも万全な備えを致しました。

世界の企業やプレイヤーを誘致し、国際ビジネスのハブとしてこの街を育むことが我々の最大の使命であり、このプロジェクトを任せていただいた責任を果たすことであろうと思います。

ここに世界の企業やプレイヤーが集積すれば、虎ノ門・新橋地区の再生とさらなる発展につながるでしょう。

地元の発展のために、私どもの再開発のノウハウを惜しみなくご提供いたしますし、このエリア全体の価値を高め、地元の方々とテナント企業が共に繁栄できるようなエリアマネジメント事業にも積極的に取り組んでまいります。

さらに言えば、都市インフラと建物を一体的に再開発で整備するという手法は、都心の貴重な土地を最有効活用する、画期的なモデルとして、今後の東京の再生に大きなインパクトを与えるものになるでしょう。

先走って諸々申し上げましたが、まずは無事に竣工させなくてはなりません。来年のオープニングに向けてラストスパートです。

来年のオープニングパーティーで皆さまと笑顔で再会し、今以上の喜びを分かち合いたいと願っております。

本日はありがとうございました。